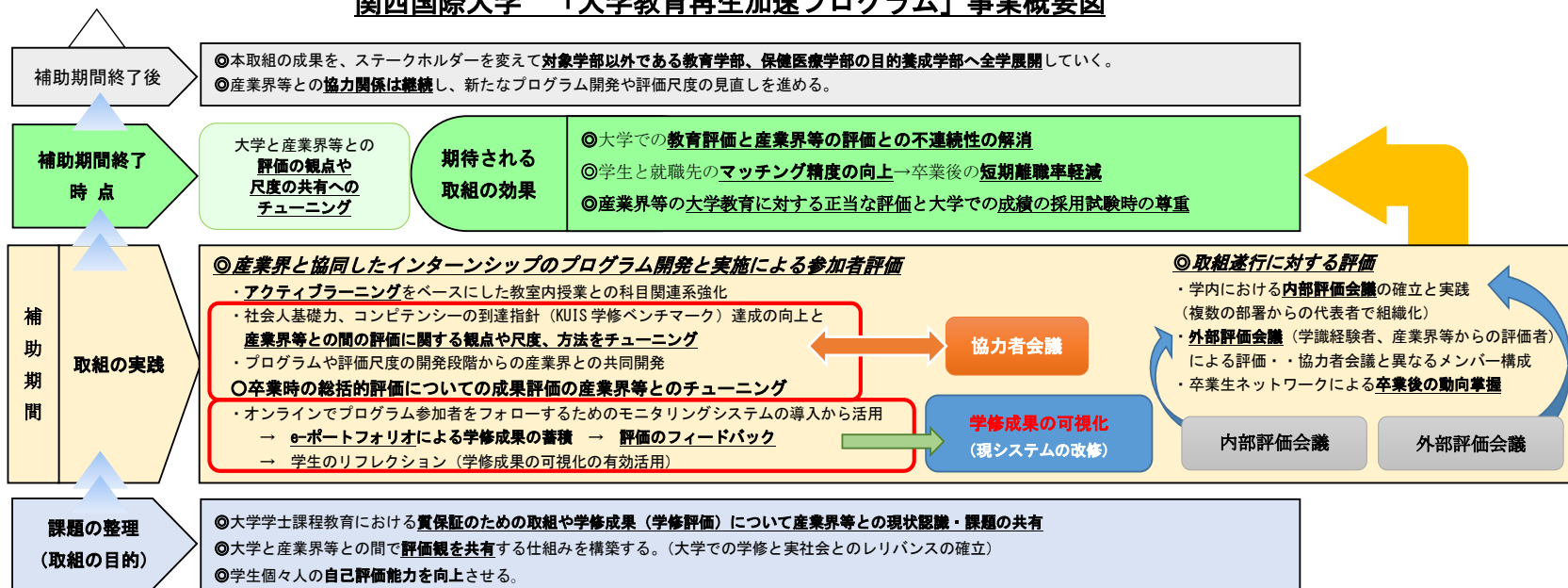


大学等名：関西国際大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

本事業は、インターンシップを糸口として、大学と産業界等との評価の観点と尺度の共有を具現化することを目的とし、産業界等での構成員（社員）評価と大学の評価との関連性や評価方法について、いくつかの事業所と連携してすり合わせていく。その結果を教育プログラムに反映させていくサイクルを繰り返すことで学修成果の可視化を進め、学生個々人の自己評価能力の向上も目指すものである。  
 <背景>大学の評価は産業界等には信頼されておらず、評価の観点と尺度とが共有されていないという問題がある。

関西国際大学 「大学教育再生加速プログラム」事業概要図



【事業の成果】

	26年度(実績値)	28年度(実績値)	31年度(目標値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	98.9%	99.0%	99%以上
学生の授業外学修時間	8.75時間	11.89時間	15時間
インターンシップ受入企業数	46社	73社	80社
インターンシップ・ルーブリックの作成と活用	実績なし	ルーブリックの完成 人間科学部で活用	全学的なルーブリックの提示・展開
eポートフォリオ記事投稿数	6件/人	21件/人	20件/人

<事業実施による大学改革の加速効果>

- ①大学での教育評価と産業界等の評価との不連続性の解消
- ②学生と就職先のマッチング精度の向上による離職率軽減
- ③産業界等の大学教育に対する正当評価等

<事業実施による大学全体への影響>

本取組の成果を、対象学部以外である教育学部、保健医療学部の目的養成学部へ全学展開していく